

名犬の時間

実習を振り返って―相手を理解すること―

で社会福祉士実習をさせて頂きました。貴重な経験をさせて頂き、実りのある実習になったと思います。

地域包括支援センターは、65歳以上の総合相談窓口で、介護保険制度や特殊詐欺などの消費者被害、高齢者の虐待、その他にも些細な悩みを相談できる機関です。地域包括支援センターにおける社会福祉士の専門性や役

割、多職種や他機関の連携、地域づくりの役割について学ぶことが出来ました。

実習中は、誰かの人生にかかわることの尊さと自分の選択で誰かの人生を変えてしまうかもしれないことへの覚悟や葛藤、水に色んな絵の具を垂らしてかき混ぜたような、そんな感情が常にありました。それでも実習を通して誰かに寄り添い、専門職として誰

かの望む生活を一緒に考えていきたいという思いがさらに強くなりました。

実習の中で心に残った言葉がありました。それは「あなたのこと（を）わからないかもしれないけど、わかりたいと思っています」という言葉で、指導者さんが利用者さんに伝えていました。

た。相手のことを完璧に理解することは極めて難しいと思います。しかし利用者さんのことを全て理解しなければ利用者さんに合った支援を利用者さんと共に考えることができない、という思いが私の中にはありました。

指導者さんの言葉を通して、まずは利用者さんを知ろうとする姿勢がかかわりや支援において重要な点であると学ぶことが出来ました。この学びは来年の実習や現場で働く際にず



っと大事にしていきたいと思えます。

私は、精神保健福祉士の養成課程を履修しているため、来年も実習を約1か月間させて頂く予定です。今回の経験を活

かせるよう、振り返りをし、来年の実習に臨みます。そして実習を受け入れて下さる実習先の皆様、実習を支えて

下さる大学の皆様に感謝し、専門職として社会に貢献できるよう勉強に励んでいきたいと思えます。

社会福祉学科3年

菅原 碧

8月14日から9月13日の1カ月間、地域包括支援センター